学校番号	3016

令和３年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」（教育芸術社出版）						
副教材等	ワークシート等のプリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を２年間通して学習する。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価する。
・音楽の授業で大切なことは、知識や技能を習得、音楽的な感受や知覚によるものを自らにインプットし、それらについて思考や判断を重ね、他者との協働でさらに深め発展させ、最終的に表現としてアウトプットすることである。それは人間の品位や人格、物事に対する理解力や創造力に結びついている、言わば人間として持つべき基礎的教養を身につけることに繋がる。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	豊かな声で歌いあげよう！	【歌唱】 校歌	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーの美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 混声4部合唱曲	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 クラッピングミュージック	○		○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 クラッピングアンサンブルをつくろう1		○			b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	オーケストラの楽器を知ろう	【鑑賞】 オーケストラの楽器たち	○			○	a:オーケストラで使用されている楽器に興味を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、総合芸術としてのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート

後期	日本の伝統楽器に触れ、日本の心を感じ取ろう	【器楽】 箏曲	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 故郷	○	○	○		a:「故郷」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:「故郷」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 カーロミーオベン （斉唱・原語）	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	指揮者の魅力について考えよう	【鑑賞】 指揮者の世界	○			○	a:指揮者とオーケストラとの関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、総合芸術としてのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。